

改善事項等								施設コメント
（施設として取り組まれていること）	1	地域での社会福祉法人の役割を踏まえ、基本方針を策定、事業展開を行っている。近隣地域での“いきいきサロン”の主催や障害者サポート団体での活動等、実践力が増してきた。						
	2	医療頻度の高い利用者や着取りケアの要介護者の受入を積極的に実施し、それに対応できる職員の技術向上に努めている。						
	3	施設の状況に応じた独自の非常災害対策を策定しており、定期的に避難訓練を実施している。また、地域との連携を強化するために、随時、自治会や街づくり協議会と協議する機会を持っている。						
	4	苦情解決について情報収集、検討、回答、対策等迅速に対応している。						
	5	資質向上とメンタルケアを目的とした職員との面談を重視し、法人独自のキャリアパス制度を運用している。						
（取り組みの計画）		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール（人・予算・情報・手順等）	担当
	1	サービスの質の向上に努め、利用者満足度を上げていく。	業務の継続的な改善を行い、利用者とその家族の満足度を高めるよう質の高いサービスを提供する。	1年3ヶ月	H.30.1	H.31.3	①認知症ケアの充実 ・認知症介護実践者研修の受講 ・研修受講者による現場へのフィードバック ②個別ケアの充実 ・利用者別の24時間シート、危険予測シートに加え余暇活動シートを作成する。 ・CADL（文化的日常的動作）に着目した「いきがい、心地良さ、暮らし方等」を評価するアセスメントの作成と実施。 ・利用者や家族の意向が聴取できるよう面談の機会を増やす。 ・個別機能訓練を日常生活の中に取り入れる。 ③医療ケアの充実・利用者別服薬管理を徹底する。 ・定期検診、住診等の医療体制を充実させ、多職種で連携し健康管理していく。 ・看護・介護職員は利用者の日々の体調に配慮し、変化に対応していく。 ・訪問歯科診療と日々の口腔ケアで口腔機能を改善していく。 ・着取りケアマニュアルとエンゼルケアマニュアルを見直し実施する。 ・着取り時の家族へのサポートを充実させる。（メンタル面、治まれる環境作り等） ・「介護職員等によるたぐり等の実施のための研修」を順次受講していく。 ④生活支援サービスに充実 ・希望する家族への宿泊サービスを提供する。 ・各ユニットに交流スペースを設ける ・生活感のある空間作りを実施する。 ・利用者の入退院のサポートを行う。	全職員 嘱託医
	2	事業計画（収支計画を含む）策定には幹部職員のみでなく、職員の参画が必要である。	職員参画において事業計画を策定していく。	3ヶ月	H.30.1	H.30.3	①運営推進会議（施設長、部長、事務長、職員の選抜メンバー等）にて事業計画を策定する。 ②事業計画に沿った目標や行動計画をユニットや事業所ごとに所属職員が策定する。 ③新たに収支計画を策定する。 ④進捗状況や評価を定期的に職員に公表する。	施設長 部長 事務長 職員選抜メンバー
	3	法人理念、基本方針、事業計画について利用者や家族に対し、分かりやすい資料を作成しつづ周知していく必要がある。	方法を工夫し、分かりやすい資料を用いて法人理念、基本方針、事業計画について、利用者とその家族に周知する	1年3ヶ月	H.30.1	H.31.3	①見やすく平易な言葉を用いた参考資料を作成し利用する。 ②契約時に、説明を十分に行う。 ③ホームページ、広報等の媒体を利用し発信していく。	介護・看護統括部長 広報委員会 生活相談員 介護支援専門員
	4	マニュアルについて見直しする仕組みを確立していく必要がある	マニュアル委員会を設置する。	1年	H.30.4	H.31.3	①施設長はマニュアル委員会設置する。 ②委員は多職種、事業所横断的に選任される。 ③それぞれのマニュアルを見直し現状に即した実践のマニュアルを作成する。 ④定期的に業務改善のチェックを行う。	施設長 マニュアル委員会
5	実習生の受入れを実践していく。	実習生受入れを実践し育成していく。	1年	H.30.4	H.31.3	①高校や専門学校を通じて実習生受入れを募る。 ②実習生を暖かく迎え入れる。 ③実習生受入れは「実習生受入規程」に即する。 ④担当ユニットを定めメンターを配置する。	施設長 介護主任 担当ユニットリーダー 担当メンター	
（取り組みの計画）	1	外部監査や家族、地域からの評価を業務に活かすことができていない。	外部からの評価を業務改善に繋げていく。	1年3ヶ月	H.30.1	H.31.3	①外部監査や家族・地域からの評価を全職員に周知する。 ②評価について関連する事業所、ユニット、委員会はそれぞれに検討し業務改善プランを立て実践していく。 ③再度、評価→検討→改善を行い一連のサイクルを構築していく。	全職員
	2	職員個別の教育・研修プランを策定する	個々の職員に応じた研修計画を策定する。	1年	H.30.4	H.31.3	①職員別に有する資格やスキルについて調査する。 ②職員は目標を立てる。 ③年間を通じて外部研修等の情報を収集する。 ④必要とされる知識や技術に沿った研修プランを策定する。 ⑤研修後は現場にフィードバックできる体制を構築する。	指導・教育委員会 研修委員会 主任委員 職員
	3	利用者と地域の関わりをさらに進める。	利用者が地域共生社会の一員となるよう地域と関わる機会を増やしていく。	1年3ヶ月	H.30.1	H.31.3	①利用者の外出の機会を増やす。 ②施設開放を通して利用者と地域の関わりあいを設ける。 ③ケアプランや24時間シートに反映させる。	全職員
	4	人材確保のプランを確立する。	法人にとって必要な人材を育成もきめて確保できるプランを策定する。	1年3ヶ月	H.30.1	H.31.3	①法人の管理運営（戦略、実行、評価等）を担う人材を育成する。 ②組織の弱み、強みを把握し必要人材（法人運営、財務、職員管理、営業、医療、介護・・・）確保・育成に向けたプランを策定する。	施設長 看護統括部長 事務長 主任 リーダー
	5	個人ファイルの管理について改善が必要である。	個人ファイルは施設できる箇所管理する。	3ヶ月	H.30.1	H.30.3	①各ユニット介護職員室を整理整頓し鍵付ロッカー内にスペースを確保する。 ②鍵付ロッカーに個人ファイルを収納する。	事務長 介護・看護職員
（取り組みの計画）	1	本館の浴槽が並列で設置されており、プライバシーに配慮する必要がある。	移動式の仕切りを試用し、入浴時の利用者のプライバシーを確保する。	3ヶ月	H.30.1	H.30.3	①移動式のパーティションを購入する。 ②入浴時は設置し利用者のプライバシーを確保する。	施設長 介護職員
	2							
	3							
	4							
	5							